

被災地の声

自然体験通し魅力発信

和田 祐樹さん (29)

郡山市



人と自然の懸け橋になりたいと話す和田さん

キャンプが主流の中「福島で自然体験なんてできるのか」という声もあったが、放射線量を自ら測るなどして、納得のいくように実施してきた。豊かな自然は福島の文化そのもの。自然と人を離してはいけないという思いだった。

キャンプは参加者の「やってみたい」という気持ちを尊重した内容にしている。自ら考えて自然と向き合うことで、生きる力を育んでもらいたい。火起こしや川下りなど、簡単にはできないこともあるが失敗や難しいと感じる経験も必要だ。子ども向けの自然体験と並行して、学生や教員の人材育成事業にも取り組んでいる。

湖南町の魅力づくりにも一役買いたい。猪苗代湖に面し、豊かな自然や観光資源、伝統的な物産も多い。自然体験などを通して湖南の魅力を発信したい。

郡山市湖南町にあるホールアース自然学校福島校を運営している。震災と原発事故を契機に本県にUターンした。原発事故で離れてしまった人と自然の懸け橋になると、子ども向け自然体験キャンプなどを展開している。

学生時代に挑戦したオーストラリアでのワーキングホリデーの経験が今の自分につな

がっている。食料の調達から自分でやらなければならない環境に身を置き、大自然の中で生き抜く大変さを痛感した。帰国後、自然災害の多い日本で家族や友人を守るための知識を付けたいと思い、自然学校の門をたたいた。

平成二十四年秋、静岡県自然学校の分校として福島校を設立した。県外への保養キ